

2022年日本経済の展望

三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所長

嶋中雄二

- * 峠を越えてきた日本でのコロナの脅威
- * 株価が4万円を目指す可能性を探る
- * 交易条件悪化の影響は2022年前半に顕在化
- * 景気動向が弱い中国、強い米国
- * 2022年の米国の金利引き上げ見通し
- * EUは米国の金融政策を注視
- * 日本のマイナス金利解除の見通し
- * 日本経済は2022年度上期に一時的に後退局面も
- * 日本でも目立ってきた商品市況の上昇
- * 2023年からゴールドデン・サイクル入りを予想



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、毎年この時期にお願いしていただいている嶋中先生においでいただきました。改めて略歴等ご紹介の必要もないかと思いますが、特に景気循環を中心に景気のウォッチということでたいへん綿密なお話を承ることができました。

本日も、新型コロナウイルスによっていろいろな景気指標の見方もたいへん難しい状況でございますが、大きな流れとして2022年とそれ以降を含めた日本経済がどうなっていくのか、現状を踏まえて毎年のように綿密なお話を伺えると思います。

それでは嶋中さん、よろしくお願ひいたしました。（拍手）

峠を越えてきた日本でのコロナの脅威

嶋中 たいいま柴生田理事長よりご紹介いただきました嶋中でございます。毎年この時期に景気のお話をさせていただくんですけれども、先ほど理事長たちとお話をしていたときに、コロナがそろそろ終わるんじゃないかと去年言っていたが、そうならなかったですねとご指摘が、理事長ではないですがあります、たしかにそれは申し訳ありませんでした。ただ、前回お話ししたときにフロアからご質問が出て、東京オリンピック・パラリンピックは中止になるのじゃないかとのご質問だったんですが、それは開催されます。中止にならないと思いますと申しました。こは正しかったなと思っております。